

老いても 安心して住めるまち たはら

地域住民癸！

田原校区 小地域福祉活動第一次計画



田原市民センター



住民のいいの場
文化記念公園

平成28年度～平成32年度 (5か年計画)

ふれあいネットワーク

小倉南区田原校区社会福祉協議会

ごあいさつ

小倉南区田原校区社会福祉協議会
会長 森 照 男



田原校区は、小倉南区の東部に位置し、広大な平坦地を活かした農業活動を中心とした地域から、昭和40年代以降の宅地開発や産業発展の影響を受けて、周辺の人口も増大し、昭和55年には「田原小学校」の設立にともない、地域活動の中心となる「田原校区社会福祉協議会」が組織されました。その後、35年を経過し、校区内には「保育園、小学校、中学校、高等学校」のある、文教区域としての整備もされてきました。なかでも、小学校の児童が一時、800名を超えるマンモス校となりました。

そのようななか、田原校区では、地域住民が、「安全・安心して暮らせる“明るいまちづくり”」を目指して、地域での活動に関わる方々と一丸となり、日々、活動に取り組んでいます。

校区社会福祉協議会では、これまで組織の関係者に留まることなく、公私を問わずお互いの協力関係を保ちながら、地域福祉活動を推進してまいりました。

地域の生活環境では、JR日豊本線・下曽根駅や大規模商業施設もあり、暮らしやすい場所ではありますが、校区全体が海拔2～4mと低地にあり、北側を竹馬川に面しており、最近の異常気象による河川氾濫の危険性が予測される区域で、常日頃から避難訓練と日常的な備えが必要なことです。また、高齢者の対応状況では、高齢の方々が安心してすごせる環境や、認知症をかかえた家族への対応が「連絡調整会議」など校区の会議で話題にあがってまいりました。

そこで、校区内に「認知症支援活動委員会」を設置し、地域住民を対象とした、認知症の研修会や「徘徊高齢者搜索模擬訓練」なども実施してまいりました。

この度、小地域福祉活動計画を策定するにあたり、地域住民の一人ひとりが関心を持って活動に参画できることの積み重ねを大切にしながら、少子高齢社会の進展に正面から向き合っていくことが、これからさらに必要なこととなってまいります。

この計画の策定にあたり、ご尽力をいただきました、本計画策定委員会の方々ならびに「ご意見・ご提案」をお寄せくださった関係者の皆さまに感謝を申し上げて、ごあいさついたします。

平成28年4月吉日

も く じ

こ あ い さ つ	1
第 1 章 計画の目的・意義	3
第 2 章 田原校区の現状と課題	4
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題	
第 3 章 田原校区の体系	6
1 基本計画・基本理念	
2 実施計画（基本目標Ⅰ・Ⅱ）	
第 4 章 田原校区の計画推進	9
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
参考資料	
1 小地域福祉活動計画 取り組み経過	10
2 策定委員会名簿	12

第1章 計画の目的・意義

小学校区域を基本とする、小地域福祉活動の持つ重要性が注目されている現在、北九州市でも校区社会福祉協議会を中心とする、住民主体による福祉活動が全区的に展開されています。

北九州市では、「地域福祉2011～2020」を策定し、北九州市・小倉南区社会福祉協議会においても、行政施策と連動性をもった、民間の活動計画である、「北九州市地域福祉活動計画」を策定し、平成28年度からは、第五次計画により様々な活動が展開されます。この活動計画では、地域で生活する住民の一人ひとりが中心となり、お互いに支え合うまちづくりを進めることとなっています。

田原校区社会福祉協議会においても、これらの活動を踏まえて、地域の福祉活動を長期的・計画的に展開するための計画を策定することになりました。

1 計画の性格

(1) 住民自らが参加する行動計画

この活動計画は、田原校区の福祉に関わる課題を住民の立場で点検し、地域に即した解決策を立案し、計画的に実施するものです。

(2) 小地域の生活をお互いに支え合う計画

田原校区に居住する方々が手をたずさえ、お互いに支え合うことのできる実施計画に基づいた内容に取り組むものです。

(3) 将来的な展望を見据えた活動指針となる計画

この活動計画は、田原校区社会福祉協議会が中心となり、福祉課題についての提案を行うことで、福祉において中核的な役割りを担う組織としての意義づけを明らかにするものです。

(4) 北九州市、北九州市・小倉南区社会福祉協議会と協働する計画

行政ならびに民間団体である社会福祉協議会が各々の役割を分担することで、相互に協働する地域福祉活動を展開するための計画です。

2 計画の実施期間

平成28年度～平成32年度までの5か年間の第一次計画とします。最終年度の平成32年度には、5か年間の点検と新たな5か年間の計画を策定します。

3 計画の策定経過

田原校区社会福祉協議会では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえながら、小地域福祉活動計画策定委員会を組織し、計画を策定いたしました。

第2章 田原校区の現状と課題

1 地域社会の動向

(1) 田原校区の基礎データ

人 口	11,980人	小 学 校	田原小学校
世 帯 数	5,867世帯	中 学 校	田原中学校
高 齢 化 率	21.5%	高 等 学 校	小倉東高等学校
一人暮らし高齢者	288人	活 動 拠 点	田原市民センター
福 祉 協 力 員	45人	民生委員児童委員	12人
その他社会資源等	文化記念公園（多目的グラウンド、プール、庭園他）		

(2) 田原校区での地理的環境

JR日豊本線下曽根駅南側に広がる区域で、校区の中央を国道10号線が縦断する、田畑の広がる農村風景や、総合商業施設ならびに中高層の集合住宅から、戸建ての住宅地等が混在する典型的な郊外型の地域です。



JR下曽根駅、南口

(3) 田原校区での活動スローガン

「あいさつのまち田原」をスローガンに掲げ、小さな子どもから高齢者まで、「すべての方々が安心して暮らせるよう」地域住民が中心となって、福祉活動に取り組んでいます。

(4) 田原校区の重点的な取り組み

(ア) 地域の交流活動

地域で暮らす高齢者が安心して生活を送れるよう、地域の方々との交流を深め、笑顔で人生を過ごしていただくように、4月・花見会、5月・茶話会、10月・昼食会と自治会毎に「サロン活動」をおこなっています。

(イ) 年末・年始ふれあい活動

小学校の子どもたちと地域の高齢者がふれあう場として、12月には三世代餅つき大会を開催しています。また、餅つき大会には全員が参加できないので、福祉協力員から担当している高齢者に、年賀状をお送りしています。

(ウ) 広報活動

社会福祉協議会の活動内容を多くの方々にお知らせするため、広報紙を発行して、世帯訪問する際に手渡しするようにしています。

2 地域の福祉課題

項 目	地域の福祉課題
認知症の 対応・予防	☐ 家族が認知症と診断されたらどうしたらいいのか？ ☐ 認知症の人を支える家族の援助をどうするのか ☐ 認知症の予防はできるのか？ ☐ 生活習慣病の予防により、認知症を減らす？ ☐ 認知症にならない運動や作業はあるの？ 
認知症の 状況把握	☐ 地域に認知症の人はいないか、関係者で把握する ☐ 各町内での高齢者世帯の確認と予備軍の把握 ☐ 認知症の把握はあくまでも個人情報だが、 地域で共有することも必要？ 〔プライバシーの保護をどう保全するのか？〕 
地域活動の 組織・体制	☐ 地域の組織が連携して、早期発見・早期保護を図る ☐ 町内ごと・校区全体の体制づくりが必要 ☐ 徘徊者が出たときの連絡網はどうか ☐ 地域で認知症サポーターとして動ける グループの編成と行政等への連絡方法は？ 
認知症への理解 ・学習会の開催	☐ 認知症について正しい理解を得る、学習会が必要 ☐ 認知症の人を早く見つける方法はあるのか？ ☐ 早期発見・診断の重要性に対する理解の促進 ☐ 認知症対応への苦慮や体験談の学習が必要 ☐ 認知症の予防に関心を持たせるイベント開催 
身近な地域で 安心して暮らせる まちづくり	☐ 高齢者のサロン、子育てサロンと分けしないで、 世代を超えた活動で、街の活性化に取り組む方法は？ ☐ 災害時、高齢者の退避方法は大丈夫だろうか ☐ 町内会未加入世帯に理解を広めるには？ ☐ 街づくり活性化でモール大通りの草取りは？ 

第3章 田原校区の計画体系

1 基本計画・基本理念

基本理念「老いても 安心して住めるまち たはら」

基本目標 I
「地域の福祉活動を広める」

- ◎ 認知症の方の状況把握
 - ・生活実態調査（高齢者、認知症の方）
 - ・家族の状況調査

- ◎ 研修会・講座の開催
 - ・認知症について
 - ・認知症予防講座
 - ・サポーター養成

- ◎ モデル地区の選定
 - ・認知症予防
 - ・認知症徘徊対策
 - ・地域交流活動

基本目標 II
「活動基盤の体制づくり」

- ◎ 連携体制づくり
 - ・自治会単位の組織化
 - ・団体間の連絡網整備

- ◎ 啓発・連携活動
 - ・認知症徘徊模擬訓練
 - ・避難場所・活動拠点
 - ・他校区との連携体制

- ◎ 安心して暮らせるまちづくり
 - ・災害時地域防災訓練
 - ・自治会加入状況調査
 - ・孤立化を防ぐ体制づくり

2 実施計画

重点項目	基本目標 1 「地域の福祉活動を広める」							
1 課題背景及び地域の現状								
1. 田原校区の高齢者は、2,067人・高齢化率21.5%で、年々増加傾向にある。 2. 地域内に居住されている認知症の方々が増加し、各家族化等から老老介護も増加している。 3. ひきこもりや閉じこもりがちな生活者も居られ、行事や催しに参加しにくい方がいる。								
2 活動の方針・目標								
1. 認知症の方の生活実態などの状況把握。 2. 認知症予防の充実・強化。 3. 認知症サポーターの養成。 4. 認知症の早期発見・見守り体制の充実。 5. 認知症の方の家族を地域で支える支援・体制づくり。								
3 段階的な取組みの年次計画								
取組み内容	連携する機関	H28	H29	H30	H31	H32	備 考	
1. 認知症の方の状況把握								
・高齢者世帯の生活実態調査	まち協、自治会							
・認知症の方の状況調査	まち協、自治会							
・認知症の方の家族の生活状況調査	区役所、まち協、自治会							
2. 研修会・講座の開催								
・認知症についての講座	区役所、まち協、自治会、市社協、市民センター							
・認知症予防講座（食事等）							自治会毎	
・認知症サポーター養成講座							対象別	
3. モデル地区の選定								
・認知症予防モデル地区	まち協、自治会						2年間	
・認知症徘徊対策モデル地区	まち協、自治会							2年間
・地域交流活動モデル地区	まち協、自治会						2年間	

重点項目	基本目標2「活動基盤の体制づくり」						
1 課題背景及び地域の現状							
1. 自治会未加入者・脱会者が増加傾向にある。 2. 地域内の活動団体間の連携不足。 3. 活動を推進する関係機関・団体等の連絡体制が明確でない。							
2 活動の方針・目標							
1. 町内単位・校区全体の連携体制づくり。 2. 認知症徘徊訓練や防災訓練等の実施による、啓発・連携活動の強化。 3. 孤立化を防ぐ体制づくり。 4. 他校区との連携体制づくり。							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	H28	H29	H30	H31	H32	備考
1. 連携体制づくり							
・自治会単位の連携体制組織化	区役所、まち協、自治会、各活動団体						
・団体間の連絡網整備							
2. 啓発・連携活動							
・認知症徘徊模擬訓練	区役所、まち協、自治会、市社協、消防、各活動団体						
・避難場所、活動拠点の整備							
・他校区との連携体制づくり							
3. 安心して暮らせるまちづくり							
・災害時地域防災訓練	区役所、まち協、自治会、市社協、消防						
・自治会加入状況調査							
・孤立化を防ぐ体制づくりモデル地区							

第4章 田原校区の計画推進

1 地域への計画の承認と周知

- (1) 校区社会福祉協議会の総会等を通じ、社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- (2) 計画の実施項目を進めていくうえでの関係機関・団体への周知・協力依頼
- (3) 計画書概要版の配布等を通じた校区住民への周知
- (4) 計画を推進していくための広報・啓発活動

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会設置

計画を推進していくために、田原校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の管理を行う。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

- ① 事業推進の確認
- ② 年度内における中間確認

参 考 資 料

小地域福祉活動計画 取り組み経過

No.	期 日	項 目	備 考
1	H27.01.27.	・組織編制・組織の名称決め 「認知症支援活動委員会」	
2	H27.03.28.	・第1回研修会：認知症サポーター養成講座 「ふくし劇団こくら南プチボ」公演含む	
3	H27.04.17.	・第1回 認知症支援活動委員会：発会 「規約、年間活動計画、予算等協議」	
4	H27.04.20.	・第2回 研修会開催 「SOSネットワーク、GPSシステム」	
5	H27.05.14.	・第3回 研修会開催 「SOSシステムの説明と搜索ミニ訓練」	
6	H27.06.02.	・研修会参画 第1回「小地域福祉活動計画策定研修」	ウェルとば たで受講
7	H27.06.29.	・第4回 研修会開催 第1回「認知症徘徊搜索模擬訓練学習会」	
8	H27.07.05.	・第1回 役員会開催 「小地域福祉活動計画の取り組み」	
9	H27.07.09.	・第1回 活動計画策定委員会開催 「小地域福祉活動計画の取り組み」	
10	H27.07.21.	・第2回 活動計画策定委員会開催 「小地域福祉活動計画の取り組み」	
11	H27.08.18.	・第3回 活動計画策定委員会開催 「小地域福祉活動計画の取り組み」	大学生実習 生参画
12	H27.08.18.	・第5回 研修会開催 第2回「認知症徘徊搜索模擬訓練学習会」	大学生実習 生参画
13	H27.08.29.	・第2回 役員会開催 「活動計画書作成」基本目標別、実施項目	

No.	期 日	項 目	備 考
14	H27.09.03.	・第3回 役員会開催 「活動計画書作成」基本目標別、実施項目	
15	H27.09.08.	・第1回 模擬訓練打ち合わせ 「認知症徘徊模擬訓練」	
16	H27.09.15.	・第4回 役員会開催 「活動計画書作成」基本目標別、実施項目	
17	H27.09.25.	・第2回 模擬訓練打ち合わせ 「認知症徘徊模擬訓練」	
18	H27.10.09.	・研修会参画 第2回「小地域福祉活動計画策定研修」	ウェルとば たで受講
19	H27.10.14.	・第3回 模擬訓練打ち合わせ 「認知症徘徊模擬訓練」	
20	H27.10.24.	・第1回 模擬訓練 「認知症徘徊模擬訓練」	
21	H27.10.27.	・第5回 役員会開催 「活動計画書作成」基本目標別、実施項目	
22	H27.12.08.	・第6回 役員会開催 「活動計画書作成」基本目標別、実施項目	
23	H27.12.16.	・第4回 活動計画策定委員会開催 「活動計画書作成」基本目標別、実施項目	
24	H28.01.15.	・第7回 役員会開催 「活動計画書作成」基本目標別、実施項目	
25	H28.01.23.	・第6回 研修会開催 「認知症サポーター養成講座」	
26	H28.02.22.	・第5回 活動計画策定委員会開催 「小地域福祉活動計画」計画書等	
27	H28.02.26.	・第8回 役員会開催 「小地域福祉活動計画」提出内容確認	
28	H28.02.29.	・第9回 役員会開催 「小地域福祉活動計画」提出内容確認	
29	H28.03.04.	・第10回 役員会開催 「小地域福祉活動計画」提出内容確認	
30	H28.03.11.	・研修会参画 第3回「小地域福祉活動計画策定研修」	ウェルとば たで受講

田原校区「小地域福祉活動計画策定委員会」名簿

(順不同)

No.	委員会役職	氏 名	所 属	所属内役職
1		森 照 男	田原校区社会福祉協議会	会長
2	委 員 長	林 利 治	田原校区社会福祉協議会	副会長
3	副 委 員 長	久 保 夏 子	民生委員児童委員協議会	副会長
4	会 計	末 廣 三英子	民生委員児童委員協議会	委員
5	書 記	山 田 修 子	民生委員児童委員協議会	委員
6		濱 野 正 美	津田自治会	会長
7		上 村 道 和	田原自治会	会長
8		伊 藤 満 明	田原新町自治会	会長
9		西 谷 圓 二	津田南宿舍自治会	会長
10		岡 本 傳	田原新町老人クラブ	会長
11		佐 藤 功	津田新町老人クラブ	会長
12		市 野 努	田原老人クラブ	会長
13		今 村 信 行	津田老人クラブ	会長
14		岩 木 憲 治	田原校区体育委員会(津田)	委員長
15		石 橋 長 敬	田原校区体育委員会(津田新町)	委員
16		石 井 信 博	田原校区体育委員会(田原)	委員
17		市 原 ひろ子	福祉協力員(田原)	校区代表
18		川 畑 明 江	福祉協力員(津田新町)	リーダー
19		富 田 ヨシ子	福祉協力員(田原新町)	リーダー
20		前 田 なほみ	福祉協力員(津田)	リーダー
21		梶 原 みどり	田原子供会	会長
22		神 渡 真 子	津田新町子供会	会長
23		國 広 絵里子	津田子供会	会長
24		神 山 美 穂	田原新町子供会	会長
25		橋 本 久美子	食生活改善推進員協議会	田原代表
26		辻 寿 枝	田原市民センター	館長

[平成28年4月1日現在]

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★

「プチボザウルス」(Petitvosaurus)



P e t i t (プチ:ちっちゃな)

V o l u n t e e r (ボランティア)

S a u r u s (ザウルス≡恐竜)

小倉南区田原校区社会福祉協議会

☎ 800-0225 北九州市小倉南区田原三丁目16番31号

市立田原市民センター内 TEL 093-474-7552 FAX 093-471-2880

北九州市小倉南区社会福祉協議会

☎ 802-8510 北九州市小倉南区若園五丁目1番2号

小倉南区役所内 TEL 093-951-5388 FAX 093-951-5391

北九州市社会福祉協議会

☎ 804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号

ウェルとばた内(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579

(地域福祉部) TEL 093-873-1296 FAX 093-873-1351